



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月14日

上場会社名 高島株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8007 URL http://www.tak.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 幸一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー (氏名) 平川 知志 TEL 03-3567-0755
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	61,436	6.3	923	13.1	1,098	35.9	693	77.1
24年3月期第3四半期	57,814	1.4	816	30.5	808	41.7	391	8.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 691百万円 (77.8%) 24年3月期第3四半期 388百万円 (75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.33	—
24年3月期第3四半期	8.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	34,969	9,173	26.2	202.77
24年3月期	35,794	8,620	24.1	190.51

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,173百万円 24年3月期 8,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	2.9	1,400	7.8	1,450	3.4	800	6.6	17.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項」（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	45,645,733株	24年3月期	45,645,733株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	406,370株	24年3月期	396,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	45,243,457株	24年3月期3Q	45,255,141株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日)におけるわが国の経済環境は、欧州金融不安などの影響により、新興国の成長が停滞しはじめ、世界経済全体の減速を受けて、製造業を中心に弱含みで推移しました。東日本大震災の復旧復興は徐々に進捗しておりますが、当該地域以外の景気は弱含みとなっております。一方、来る消費増税を見越しての住宅などを中心にした駆け込み需要も顕在化しはじめ、また年末からの過度の円高是正や金融緩和、補正予算などによる景気回復への期待も膨らみ始めています。また再生可能エネルギー関連産業は、固定買取制度の施行などを受けて堅調に成長しております。

このような環境の下、当社グループは、太陽エネルギー分野、省エネ関連・震災復旧関連の分野の売上が増加しました。その他の分野も樹脂製品を除いて堅調に推移し、全体で売上が増加となりました。

この結果、当社グループの当期における売上高は 61,436百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は923百万円(前年同四半期比13.1%増)、経常利益は1,098百万円(前年同四半期比35.9%増)、四半期純利益は693百万円(前年同四半期比77.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建材

建材事業売上の4割を占める太陽エネルギー関連分野では、住宅用需要が継続的に拡大しました。その他の分野も堅調に推移した結果、全体で売上は増加しました。また売上増加に伴い、セグメント利益も増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は41,243百万円(前年同四半期比9.6%増)、セグメント利益は565百万円(前年同四半期比17.5%増)となりました。

②産業資材

繊維関連分野ならびに海外電子部品分野で売上が増加しましたが、家電産業全体の低調により樹脂製品分野の売上が減少し、また前年同四半期のエコ照明関連大型プロジェクトを上回る物件がなかったことなどから、全体では売上は微増となりました。セグメント利益はコスト削減等により増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は20,061百万円(前年同四半期比0.2%増)、セグメント利益は317百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。

③賃貸不動産

名古屋地区の不動産を売却したことにより、当該不動産からの賃貸収入が減少したため、売上が減少し、セグメント利益も減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は130百万円(前年同四半期比22.2%減)、セグメント利益は40百万円(前年同四半期比39.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産は27,252百万円(前連結会計年度末比2.1%減)となりました。主な要因は、太陽光パネルの調達等により商品が960百万円増加し、一方で回収が進んだことにより受取手形及び売掛金が935百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は7,716百万円(同3.0%減)となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルの売却により有形固定資産が266百万円、時価下落等により投資有価証券が24百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は21,937百万円(同5.9%減)となりました。主な要因は、仕入債務の支払いにより513百万円、未払法人税等が納税等により322百万円、返済により一年内返済長期借入金が540百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は3,858百万円(同0.1%増)となりました。主な要因は、償還により社債が100百万円減少し、一方で債権保全のための預り保証金の増加等によりその他固定負債が80百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は9,173百万円(同6.4%増)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上により693百万円増加し、一方で、時価下落によりその他有価証券評価差額金が19百万円、配当金の支払により利益剰余金が135百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,709百万円となり前連結会計年度末と比べ411百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動における資金の増加は、40百万円(前年同四半期は443百万円の増加)となりました。主な要因は、回収が進んだことにより売上債権が減少した一方で、太陽光パネルの調達等によるたな卸資産の増加及び仕入債務の支払いと法人税等の納付が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動における資金の増加は、123百万円(同290百万円の減少)となりました。主な要因は、タカシマ名古屋ビルを売却したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動における資金の減少は、580百万円(同69百万円の減少)となりました。主な要因は、社債の償還、借入金の返済、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月10日の「平成24年3月期決算短信」にて公表いたしました平成25年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益へ与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,120	2,709
受取手形及び売掛金	20,965	20,030
商品	2,022	2,982
未成工事支出金	495	358
その他	1,319	1,263
貸倒引当金	△85	△92
流動資産合計	27,838	27,252
固定資産		
有形固定資産	3,537	3,270
無形固定資産	186	160
投資その他の資産		
投資有価証券	2,699	2,675
その他	1,571	1,658
貸倒引当金	△39	△49
投資その他の資産合計	4,232	4,285
固定資産合計	7,955	7,716
資産合計	35,794	34,969

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,365	17,369
電子記録債務	—	1,483
短期借入金	2,198	1,796
未払法人税等	389	67
賞与引当金	362	182
その他	1,000	1,038
流動負債合計	23,317	21,937
固定負債		
社債	250	150
長期借入金	1,255	1,345
退職給付引当金	514	446
その他	1,837	1,917
固定負債合計	3,856	3,858
負債合計	27,173	25,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	2,170	2,735
自己株式	△74	△77
株主資本合計	7,722	8,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	227
土地再評価差額金	806	798
為替換算調整勘定	△155	△138
その他の包括利益累計額合計	897	887
純資産合計	8,620	9,173
負債純資産合計	35,794	34,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	57,814	61,436
売上原価	52,611	55,754
売上総利益	5,203	5,682
販売費及び一般管理費	4,387	4,758
営業利益	816	923
営業外収益		
受取利息	34	36
受取配当金	70	78
持分法による投資利益	8	20
償却債権取立益	5	1
為替差益	—	78
その他	48	55
営業外収益合計	167	271
営業外費用		
支払利息	70	66
手形売却損	22	21
為替差損	70	—
その他	12	8
営業外費用合計	176	96
経常利益	808	1,098
特別損失		
投資有価証券評価損	56	25
関係会社清算損	8	—
特別損失合計	65	25
税金等調整前四半期純利益	743	1,073
法人税、住民税及び事業税	223	258
法人税等調整額	128	121
法人税等合計	351	379
少数株主損益調整前四半期純利益	391	693
少数株主利益	—	—
四半期純利益	391	693

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	391	693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△19
土地再評価差額金	69	—
為替換算調整勘定	△24	16
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
その他の包括利益合計	△2	△2
四半期包括利益	388	691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	388	691
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	743	1,073
減価償却費	133	139
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	△179
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△65	△68
受取利息及び受取配当金	△104	△115
支払利息	70	66
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	25
関係会社清算損益 (△は益)	8	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,871	969
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△434	△803
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,568	△538
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38	△63
その他	△352	45
小計	654	566
利息及び配当金の受取額	104	113
利息の支払額	△68	△66
法人税等の支払額	△246	△571
営業活動によるキャッシュ・フロー	443	40
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△175	△81
有形固定資産の売却による収入	2	209
無形固定資産の取得による支出	△116	—
投資有価証券の取得による支出	△12	△5
貸付けによる支出	△14	△4
貸付金の回収による収入	13	14
その他	11	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290	123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	137	118
長期借入れによる収入	150	300
長期借入金の返済による支出	△155	△750
社債の償還による支出	△100	△100
配当金の支払額	△89	△134
その他	△13	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69	△580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	70	△411
現金及び現金同等物の期首残高	2,940	3,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,010	2,709

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	37,621	20,025	167	57,814	—	57,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	6	6	△6	—
計	37,621	20,026	173	57,821	△6	57,814
セグメント利益	481	268	66	816	—	816

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	41,243	20,061	130	61,436	—	61,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6	6	△6	—
計	41,243	20,061	136	61,442	△6	61,436
セグメント利益	565	317	40	923	—	923

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。